

# 一般質問



一般質問は、12月8日、9日、10日の3日間行われ、20人の議員が登壇しました。  
 一般質問は、2面から5面に掲載されています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)  
 なお、各議員の記事にあるQRコードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



## 地域力向上のため 市内中小企業の育成支援を

**創和会 福森 真司**  
**救急ワークステーションの運用について**

令和2年10月12日から運用が開始されたが、効果はどのようか  
**答** 一刻を争う緊急度・重症度の高い傷病者に対して、医師による迅速な病態判断と初期治療が可能となった。

**要望** 現場での課題を検証・改善し、市民の安全・安心を支える地域医療体制の充実を図ってほしい。  
**二 下水道処理施設の機械・電気設備維持管理について**

**問** 処理場設備の修繕や更新工事などの発注状況はどのようか。  
**答** 令和元年度の発注件数は19件であったが、このうち設備製作メーカーなどの企業に発注したものは11件である。

**要望** 市内にはさまざまな分野で高い技術力を持った優れた企業がある。緊急時・災害時にも早い対応ができるため、市内企業とも積極的に連携をして、維持管理に努めてほしい。  
**三 水道管の耐震化と今後の経営について**

**問** 幹線管路の耐震化計画の進め方はどのようか。  
**答** 施工を市内企業と条件付け、



## 若者世代に選ばれる都市へ

**市民クラブ 八尋 伸二**  
**一 選ばれるまちについて**

令和3年度からの3年間、※管路DB方式(設計・施工一括発注方式)を導入し、整備を進めていく。  
**要望** 未曾有の災害に備えるため、耐震化を進めるとともに、発注を平準化し、水道事業を支える市内企業の育成にも取り組んでほしい。

**問** 年々、生産年齢人口(15歳から64歳まで)が減少し、本市の財源となる市民税が平成24年度から7年間で約4億円減少し、市税の約40%を占める個人市民税の減少は顕著である。本市の生産年齢人口の推移と傾向はどのようか。



静岡県牧之原市では、高校生ファシリテーター育成で地域への愛着形成とリーダー育成を行っている。本市における、高校生に対する郷土愛の醸成策はどのようか  
**答** 高校生への施策は継続が難しく効果が出ていない。※学生団体E4は「私たちの秦野に良い影響

本市の生産年齢人口は、12年の約12万3500人をピークに27年までの15年間で約2万人減少した。また、高齢化もあり、医療・福祉分野や情報通信業が拡大し、産業別就業者の割合における第3次産業就業者は、平成2年の59%から27年の71%へと増加している。製造業を中心に発展してきた本市は、産業の変革により働く場が減少し、働く世代の大都市への転出が増加している。

本市の生産年齢人口は、12年の約12万3500人をピークに27年までの15年間で約2万人減少した。また、高齢化もあり、医療・福祉分野や情報通信業が拡大し、産業別就業者の割合における第3次産業就業者は、平成2年の59%から27年の71%へと増加している。製造業を中心に発展してきた本市は、産業の変革により働く場が減少し、働く世代の大都市への転出が増加している。

本市の生産年齢人口は、12年の約12万3500人をピークに27年までの15年間で約2万人減少した。また、高齢化もあり、医療・福祉分野や情報通信業が拡大し、産業別就業者の割合における第3次産業就業者は、平成2年の59%から27年の71%へと増加している。製造業を中心に発展してきた本市は、産業の変革により働く場が減少し、働く世代の大都市への転出が増加している。



## 一般社団法人カナガワウェルネス「コリドー」の連携を

**創和会 阿蘇 佳一**  
**一 子ども、若者、高齢者の命を守る施策について**

①本市のひとり親家庭からの相談件数は令和2年3月から10月までで2794件だが、相談体制は、②全国で覚醒剤では8584人、大麻では4321人、本市は薬物事犯18人が検挙されている  
 ③振り込め詐欺の被害は10月末時

点で18件、被害額約2700万円である。本市の対策はどうか。  
**答** ①丁寧な対応と関係機関との連携に努め未然防止を図る、②さまざまな悩みについて相談できる窓口の周知を強化する、③警察との出前講座の実施、地域への巡回などにより、注意喚起に努める。



市内企業と連携した維持管理を(写真は、浄水管理センター内の砂ろ過設備)

**二 一般社団法人「カナガワウェルネスコリドー」の連携について**  
**問** ①東海大学の知力と教育陣、2万人の学生の力を生かした産学官の連携による地域活性化プロジェクトが発足したが、本市の取り組みは、②2022年に同大学湘南キャンパスに児童教育学部が移転することから「日本一の子育て

のまち」を目指すべきである、③医学部や体育学部、健康学部と健康寿命を延ばす取り組みを進めてはどうか。

①生活に優しく子育てや高齢者の自立をサポートする未来の実現に向けた参画を模索したい、②児童教育学部とのつながりは大きな財産である、③食や運動によるプロジェクトとの連携により、効果的な事業につなげていきたい。



カナガワウェルネスコリドーのロゴマーク



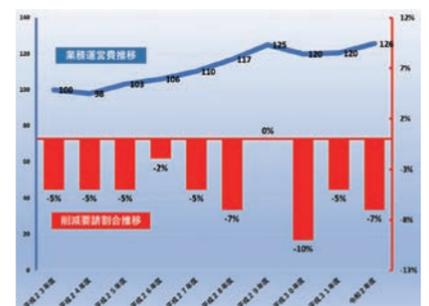
## 市役所の掲げる目標は単なる「心がけること」なのか

**市民クラブ 大野 祐司**  
**一 予算編成方針について**

「予算編成方針」などにおいて、業務運営費の削減目標が示される。図の棒グラフは、年度ごとの削減要請割合を示し、平成24年度は5%、28年度は7%、30年度は10%、令和2年度は7%というようにほぼ毎年求められている。折れ線グラフは、当初予算の推移を示したものであるが、削減目標が達成されたことは一度もない。さらに23年度に対して2年度では1.26倍と、人口減少局面であるにもかかわらず増加している。また、

業務運営費の削減は、ごみ処理や公共施設の維持管理にかかる経費など、人口が減少しても削減困難なものがあるため、ある程度の増加はやむを得ない。財政状況を踏まえて、財源を捻出するため、行財政改革や公共施設の再配置などに対して、職員一人一人が

を与えられるよう活動しよう」という思いで市内在住・在学の高校生を中心に市のイベントなどで、高校生ならではの視点で活動を行っている。地域と高校生の交流の第一歩を踏み出すことができれば、市域全体への広がり期待できる。今後多くの若者が地域に愛着と誇りを持つよう支援したい。



図：本市における業務運営費と削減目標の推移(平成23年度～令和2年度)

### 議長公務(11月～2月)

議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。

**今井 実 議長**

**11月**  
 16日(月) 新東名高速道路伊勢原大山IC～秦野IC間舗装工事安全祈願祭・アスファルトプラント火入り  
 17日(火) 全国市議会議長会第141回国会対策委員会  
 25日(水) 令和2年度秦野市優良店舗・工場および技能者の表彰式、優良従業員表彰式  
 28日(土) 第50回記念秦野市展表彰式

**12月**  
 28日(月) 令和2年消防団歳末火災特別警戒激励式

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年3月16日(月)に議長により、秦野市議会災害等対策会議が設置され、情報収集や、市へ情報提供などを行っています。

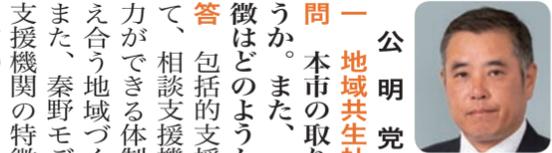
### 本会議と委員会の会議録インターネットで閲覧できます!

本会議における一般質問や議案審議をはじめ、常任委員会の会議録を会議録検索システムから検索・閲覧することができます。

多くの皆様からのアクセスをお待ちしております。

この5か5

**用語解説**  
 ※カナガワウェルネスコリドー(Kanagawa Wellness Corridor)・・・東海大学と神奈川県3市3町(秦野市・伊勢原市・平塚市・中井町・二宮町・大磯町)、民間企業が連携し、リモートワーク環境の充実、高齢者の生涯学習プログラムの開発、子育て支援や農業支援など新しい時代の暮らしをより豊かにするプロジェクトで構成される地域再生構想  
 ※管路DB方式・・・設計・施工一括発注方式のことで、構造物の構造形式や主要諸元も含めた設計を施工一括で発注することにより、民間企業の優れた技術を活用し、設計・施工の品質確保、合理的な設計、効率性を目指す方式  
 ※学生団体E4・・・秦野青年会議所が主催した「秦野高校生議会2018」の参加者有志が中心となって立ち上げた高校生団体。Eager(熱心に)、Enjoy(楽しく)、Effort(努力)、Effect(影響)の頭文字を表している



## 地域共生社会の実現に向け 人材に投資せよ

**公明党 中村 英仁**  
**一 地域共生社会の推進について**

本市の取り組みや将来像はどうか。また、「秦野モデル」の特徴はどのようか。  
**答** 包括的支援体制の構築に向けて、相談支援機関などと連携や協力ができる体制づくりと、共に支え合う地域づくりを目指している。また、秦野モデルは①既存の相談支援機関の特徴と体制を生かすこと、②地域共生支援センターを設置し、相談支援機関を総合調整するコーディネーター機能を持つこと、③包括的支援体制を構築するとともに社会福祉協議会との連携を強化し、地域づくりの推進を図ることを特徴とする。

**問** 表丹沢野外活動センターは、表丹沢魅力づくり構想の自然体験拠点の一つだが、利用人数が少なくなっている。今後の運営に対する考えはどのようか。  
**答** 多くの人に利用したいと思ってももらえるよう魅力あふれる施設にしたい。スピード感を持って抜本的な見直しを行ってほしい。  
**要望** 地元では、表丹沢野外活動センターの活性化を望む意見があるため、早急に改善してほしい。



誰もが喜べる施設とするための改善を(表丹沢野外活動センター)